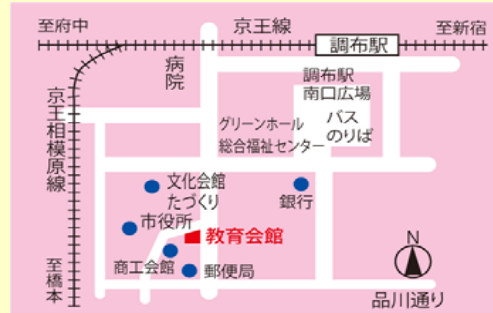


## 第3回市民サロン開催のお知らせ

マスタープランの見直しについて、自由参加形式により参加いただいた方々で話し合いを進めます。市民の方であれば参加は自由ですので、お気軽にご参加ください。

日 程 平成24年10月31日(水)午後7時から  
場 所 調布市教育会館 2階201・202会議室  
主な内容 テーマに基づく話し合い

■会場案内図  
※お車でのご来場はご遠慮ください。

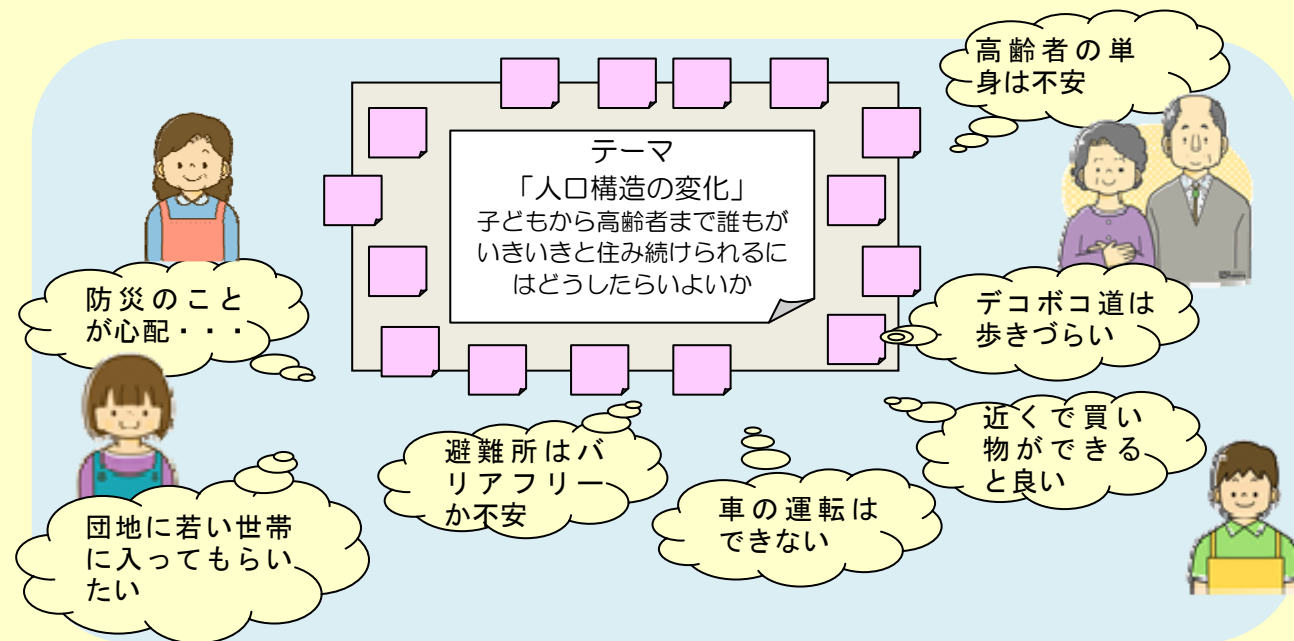


＜テーマ＞人口構造の変化に対応したまちづくり  
・高齢期を迎えても安心して住み続けられるまち  
・子どもや若い世帯が住みたくなるまち  
など

### ～第3回市民サロンの進め方～

第3回市民サロンでは、第2回でいただいたご意見を踏まえて、グループに分かれて「人口構造の変化」をテーマに高齢化や少子化などに対応したまちづくりについて意見交換を行う予定です。

今後、さらなる高齢化や少子化が進行することなどを見据え、道路や公園、商業環境、公共交通など、生活を取り巻く環境について、皆さんからご意見をいただきたいと思っております。



■ 調布市では、マスタープランの見直し作業の過程等について、このニュースでわかりやすくお知らせしていきます。

発行 調布市都市整備部 都市計画課 都市計画係  
Tel: 042-481-7453 Fax: 042-481-6800  
mail: tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

登録番号  
(刊行物番号)

2012-144

# 調布市 第3号 都市計画マスタープラン 見直しニュース

平成24年10月18日発行

調布市では、長期的・総合的な視点から今後の都市計画の指針となるものとして平成10年に策定した「調布市都市計画マスタープラン」の見直し・改定に向けた取り組みを進めております。

## 第2回都市計画マスタープランを考える市民サロンを開催しました！

マスタープラン改定に向けて、第2回市民サロンを9月28日(金)午後7時から開催しました。当日は29人の市民の方にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。

### ～当日のプログラム～

#### 1. 開会

・調布市都市整備部都市計画課長からあいさつ

#### 2. 都市計画マスタープランの改定について

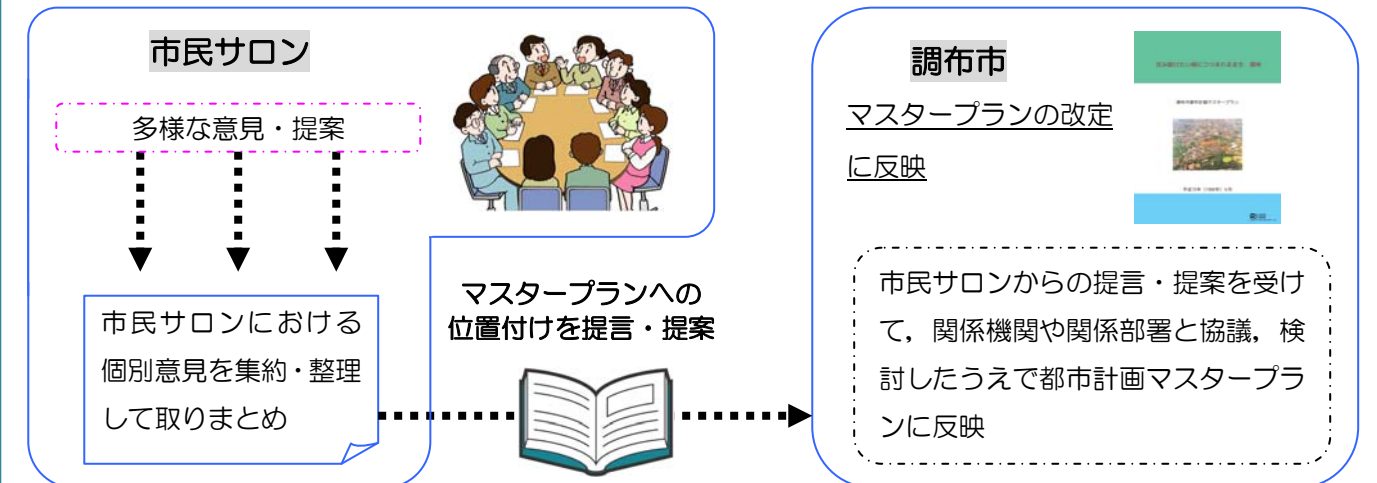
・マスタープランと地域別街づくり方針の関係性、マスタープランの基本方針に係る街づくりの動向や取組事例、改定の背景等について、説明しました。

#### 3. 市民サロンの進め方について

・今後の市民サロンの進め方について、市民サロンで出された意見のマスタープランへの反映方法等について説明しました。



■ 第2回市民サロンの様子



#### 4. 意見交換

・参加いただいた皆さんと今後の市民サロンの進め方などに関して、意見交換を行いました。  
※詳しい内容は、中面をご覧ください。

# 第2回市民サロンでご説明した内容のご紹介

## 1 都市計画マスタープランの改定について

### <当日の説明>

- ・マスタープランと地域別街づくり方針（平成22年策定）の関係について、それぞれの計画の目的や掲げる方針・施策など、相互の計画を比較しながら説明しました。
- ・マスタープランで掲げている基本方針・施策に基づいた調布市の街づくりの取組について、その概要や事例について説明しました。

### ■ 配布資料の抜粋：マスタープランの施策に関する取組

都市マスの基本方針	都市マスの施策	取組の概要・動向	取組の事例
<p>「交通」「環境」「福祉」「防災」「住環境」「合意形成によるまちづくり」</p>	<p>1. 交通・環境・福祉・防災・住環境の施策 2. 合意形成によるまちづくりの施策</p>	<p>1. 交通・環境・福祉・防災・住環境の取組 2. 合意形成によるまちづくりの取組</p>	<p>1. 交通・環境・福祉・防災・住環境の事例 2. 合意形成によるまちづくりの事例</p>

マスタープランに掲げる6つの基本方針「交通」「環境」「福祉」「防災」「住環境」「合意形成によるまちづくり」ごとに、街づくりの取組状況を整理しました。

# 第2回市民サロンでいただいたご意見のご紹介

・これからの進め方について、A, B, C, Dの各グループに分かれて、意見交換を行いました。

### ★Aグループ

- ・各回ごとにテーマを設定し、テーマに沿った話し合いを進めていくのであれば、大きな視点で話ができるし、参加者がどのようなことを問題に思っているのか共通認識が作りやすい。
- ・有意義に話し合いを進めるためには、市でも市民でもなく、客観的に課題を示していくことも必要だろう。課題がいわば話し合いのきっかけ、ガイドとなって、今後の街づくりの展開についての議論が進むのではないかと。課題を客観的に示していくのが、ファシリテーターの役割になってくる。
- ・市民目線で考えて、生活に結びつきやすく、わかりやすい話題で話した方が意見を出しやすいのではないかと。

### ★Bグループ

- ・テーマや分野を絞って話し合いを進めるのか、総花的な話し合いでよいのか。わかりやすさとしては、テーマごとが話し合いがしやすいと思う。今日のグループごとの話し合いを受けて、これからの市民サロンの進め方を早く決めてほしい。
- ・テーマについて、グループごとに話し合いを行う場合、1回の市民サロンで多くのテーマを扱うよりも、各回ごとにテーマを絞って行ったらどうか。そうすればいつ出席しても話し合いに参加しやすくなるのではないかと。

### ★Cグループ

- ・テーマごとの話し合いはよいが、グループとして議論を共有し、積み重ねていかないといけないから、メンバーはできるだけ固定化が望ましい。
- ・マスタープランの基本方針6つについても、本当に6つの視点で足りているのか、あるいは足りない項目はないかということから始めることでどうか。
- ・私たちの役割は、市民の目線としてどこを見直すかを議論すればよいと思う。それを行政に提示することだと思う。

### ★Dグループ

- ・現行のマスタープランは、市民が執筆まで関わり、とてもやりがいがあった。そういった面で評価できると思う。今回の改定でもできるだけ、市民の直接の言葉を生かしてほしい。
- ・詳しい施策の取組を市民サロンで提示してもらい、参加者同士で情報を共有したい。定量的に示せないものもあると思うが、どの施策がどの程度進んでいるのか示してほしい。



## 2 市民サロンの進め方について

### <当日の説明>

- ・今後の市民サロンの進め方について、2つのパターン（下図参照）を提示させていただき、今後の進め方について、4グループに分かれて意見交換を行いました。
- ・市民サロンでいただいた意見等については、「(仮称)マスタープラン改定への提案」としてとりまとめます。調布市では、それを受け、関係機関や関係部署と協議、検討したうえでマスタープランに適切に反映していくことを考えています。
- ・反映内容等については、改定の素案として市民サロンの場で改めて説明を行います。

市民サロンでは、多くの方がAパターンで進めるイメージを持たれていました。

個別意見を集約・整理する時には、Bパターンが良いのではとのご意見もありました。

### ■ 市民サロンの取り組み方

**<Aパターン>**  
参加者はテーマごとに自由に意見を出し合い、個別の意見の趣旨を集約する。

**<Bパターン>**  
マスタープランの、「どの箇所」に「どのような」見直しを行う必要があるかなどを直接話し合い集約する。